

Together To The Top



株主のみなさまへ

第108期 中間報告書

第2四半期連結累計期間
2015年4月1日~2015年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算ハイライト(前年同四半期比)	1
営業のご報告	2
事業の概要	3
事業別製品の紹介	3
決算の状況(連結)	5
業績の推移(連結)	6
2016年3月期 通期業績予想	7
配当について	7
中期経営計画(Together To The Top)進捗レポート	7
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11



代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治誠吾



代表取締役社長
兼最高執行責任者

恒山 恒太郎

連結決算ハイライト(前年同四半期比)

1 2016年3月期第2四半期(累計)決算概要

単位:百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】	【当期】	前年同四半期比	
	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	40,450	41,981	+1,531	+3.8%
営業利益 (同利益率)	3,961 (9.8%)	3,527 (8.4%)	△433	△10.9%
経常利益 (同利益率)	4,144 (10.2%)	3,762 (9.0%)	△381	△9.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	2,219 (5.5%)	2,050 (4.9%)	△169	△7.6%

■:半期ベースで過去最高値

売上高

連結売上高は419億円(前期比+3.8%)となり、第2四半期(累計)の過去最高値を更新しました。

自動車産業関連では、国内における販売は生産台数の減少に伴い低調でありましたが、北米や欧州で好調に推移し、メキシコ新工場の生産拡大も売上高に寄与しました。船舶関係においては、市場全体では引き続き厳しい状況にあるものの、国内の低・中速ディーゼルエンジン用軸受の一時的な生産集中により、また、欧州の中高速ディーゼルエンジン用軸受については、拡販努力による売上の確保、及び円安効果もあり、当第2四半期連結累計期間における売上高は419億81百万円となり、過去最高値を更新しました。

利益

グローバルベースでの事業展開に伴う各種先行費用の計上や減価償却費の増加(前年同四半期比+2億93百万円)などにより、営業利益は4億33百万円減益となりました。経常利益は3億81百万円減益となりました。株主に帰属する四半期純利益は、1億69百万円減益となりました。

2 所在地別 売上高・営業損益

国内

- 国内は、船舶の低・中速ディーゼルエンジン用軸受の売上が回復したものの、主力の自動車関連で、国内自動車生産台数が減少したことや、国内軸受生産の海外拠点への移管に伴う減少等により、全体の売上高は前年同四半期を3.2%下回りました。
- 営業損益は、自動車関連の減収等により減益となりました。

アジア

- 中国・タイを中心に売上は堅調に推移し、アジア全体では増収・増益となりました。

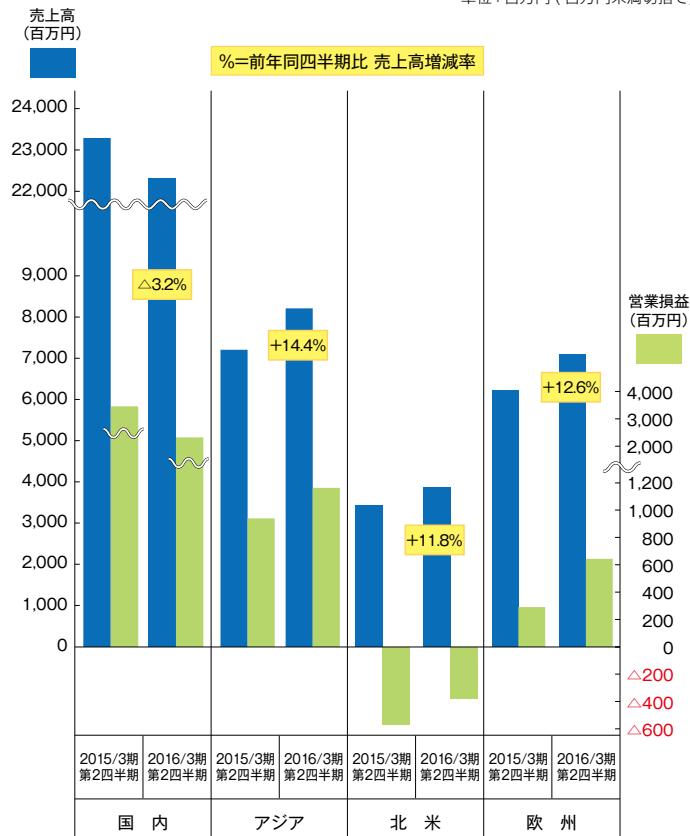
北米

- 自動車関連の売上は、市場が好調であったことなどから伸長しました。一般建設機械向けは前年並みで推移しました。メキシコ新工場に係る先行費用の計上とドル高・ペソ安による為替影響もありましたが、営業損益は改善に向かいました。

欧州

- 自動車関連の需要回復、中高速ディーゼルエンジン向けの売上が回復に向かったことから増収・増益となりました。

単位:百万円(百万円未満切捨て)



株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2016年3月期第2四半期(累計)における営業のご報告を申し上げます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、北米・欧州において自動車産業関連が堅調に推移し、国内及び欧州において船舶関連の売上が一時的な生産集中や拡販努力等により回復に向かったことに加え円安効果などもあり、グループ全体での売上高は419億81百万円と前年同四半期に比べ15億31百万円(+3.8%)の増収となり、過去最高値を更新いたしました。

また、利益面では、グローバルベースでの積極的な事業展開に伴う各種先行費用の計上や減価償却費の増加などにより、営業利益は35億27百万円と前年同四半期に比べ4億33百万円(△10.9%)の減益となり、経常利益は37億62百万円と前年同四半期に比べ3億81百万円(△9.2%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は20億50百万円と前年同四半期に比べ1億69百万円(△7.6%)の減益となりました。

現在、当社グループでは、中期経営計画「Together To The Top(ともにトップを目指

そう)】(平成24年4月～平成30年3月までの6カ年)に基づき、当計画の最終年度において、自動車用エンジン軸受や大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受のみならず、すべり軸受の全分野での世界トップシェア獲得を実現すべく、平成24年度から平成26年度までの第1ステージでは事業基盤の拡充と再構築を図るべく、特に売上拡大に対応したグローバルベースでの生産能力の増強に取り組みました。

平成27年度から平成29年度までの第2ステージの最終年度において、当社グループのチャレンジ目標である「連結売上高1,110億円、営業利益167億円、営業利益率15%以上」の達成、並びに『すべり軸受の全産業分野での世界トップシェア獲得』の実現を目指すべく邁進してまいります。

常に、「DAIDO SPIRIT(夢・希望・挑戦)」を忘れずに、グループが一丸となって勇気ある挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

事業の概要

軸受(メタル)とは、回転する軸を支える部品です。エンジンを始め、回転する部分がある機械には必ずといってよいほど使用されており、機械の性能を左右するほどの重要な部品です。

大同メタルが製造しているのは「すべり軸受」(プレーン・メタル、平軸受とも言う)と呼ばれる軸受で、ボールベアリングなどの「ころがり軸受」とは異なります。

一般的に「すべり軸受」は、半永久的に寿命が長く、負荷能力(支えられる重さ)は速度とともに増加し、静かで、耐衝撃性があることから、自動車、船舶、建設機械などのエンジン用軸受等に適しています。

当社は、自動車のみならず、多種多様の産業分野の軸受を手掛ける、「総合すべり軸受メーカー」です。



半割メタル



スラストワッシャー



ブシュ

事業別製品の紹介

自動車用エンジン軸受

通常、自動車のエンジン部分には1台あたり平均で約20個の軸受が使用されています。当社はこの自動車用エンジン軸受において、世界シェア約31.5% (2014年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。



自動車用エンジン以外軸受(自動車部品用軸受)

自動車では、エンジン部分以外にも、いろいろな場所に多くの軸受が使用されています。中でも当社は、ターボチャージャー用軸受(スモールターボ)では世界シェア約34% (2014年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。また、ショックアブソーバー用軸受においても国内で極めて高いシェアを有しています。



スロットボディ用ブシュ



ターボチャージャー用
スラストベアリング



ターボチャージャー用
フローティングベアリング



パワーステアリング用
ポンプブシュ



エアコン用チップシール
(スクロールコンプレッサー)



ラックアンドピニオン
ステアリングブシュ



ショックアブソーバー用
ブシュ



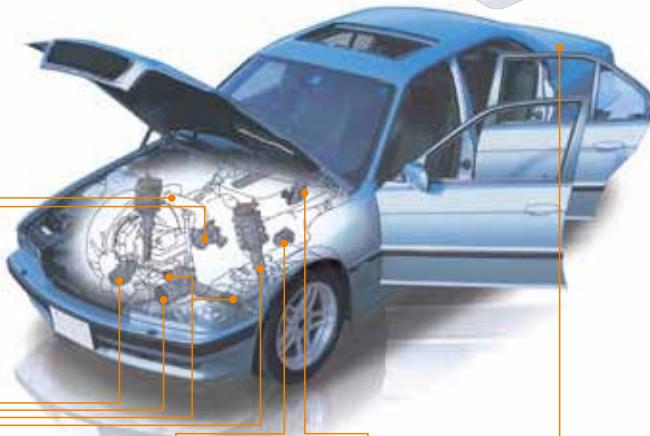
スターター用ブシュ



フロントリクライニング
シート用ブシュ



トランクリッドブシュ/
エンジンフードブシュ



建設機械・中小型船舶ディーゼルエンジン用軸受

ショベルカーなどの建設機械のエンジン部分・シリンダー部分や中小型船舶のエンジン部分に使用されています。当社は、建設機械・農業機械用の軸受においても国内外で高いシェアを有しています。



大型船舶エンジン用軸受

船舶のエンジンに用いられる軸受は、大きいものでは内径1メートルにもおよびます。当社は大型船舶用の軸受においても世界で約59%（2014年暦年当社推定）のトップシェアを有しています。



一般産業用軸受・その他

オフィス用機器はもとより水力・火力などの発電設備、高速車輛、鉄道事業、免震・制振装置など、多種多様な産業分野の軸受を手掛けています。また、ロータリーポンプ、集中潤滑装置など、軸受以外の潤滑技術応用製品も開発・販売しています。



連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産	58,755	59,448
固定資産	57,778	59,330
有形固定資産	50,082	51,847
無形固定資産	1,977	1,777
投資その他の資産	5,717	5,704
資産合計	116,533	118,778
負債の部		
流動負債	37,355	39,734
固定負債	26,083	24,583
負債合計	63,439	64,317
純資産の部		
株主資本	41,850	43,502
資本金	7,273	7,273
資本剰余金	7,946	7,946
利益剰余金	28,051	29,703
自己株式	△ 1,420	△ 1,420
その他の包括利益累計額合計	1,730	1,195
その他有価証券評価差額金	1,250	938
為替換算調整勘定	1,340	1,037
退職給付に係る調整累計額	△ 860	△ 780
非支配株主持分	9,512	9,762
純資産合計	53,093	54,460
負債純資産合計	116,533	118,778

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

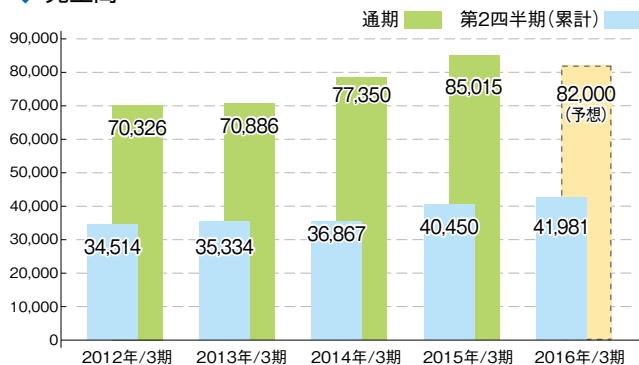
科目	前第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日)
売上高	40,450	41,981
売上原価	29,204	30,711
売上総利益	11,246	11,270
販売費及び一般管理費	7,285	7,743
営業利益	3,961	3,527
営業外収益	609	599
営業外費用	426	364
経常利益	4,144	3,762
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	4,144	3,762
法人税、住民税及び事業税	1,425	1,178
法人税等調整額	73	23
非支配株主に帰属する 四半期純利益	425	510
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,219	2,050

連結キャッシュ・フロー計算書

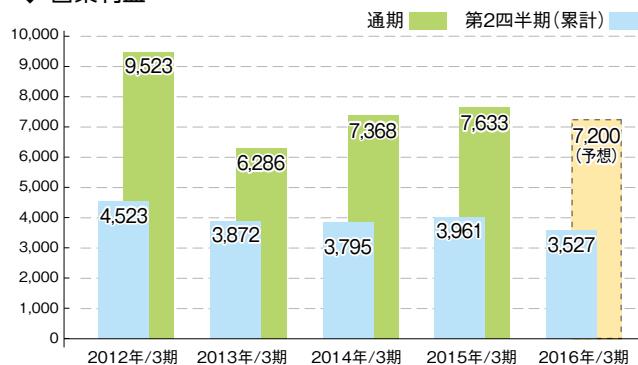
単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,670	3,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,919	△ 5,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 809	1,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 159	△ 31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 217	△ 637
現金及び現金同等物の期首残高	11,427	12,595
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額（△は減少）	20	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,230	11,957

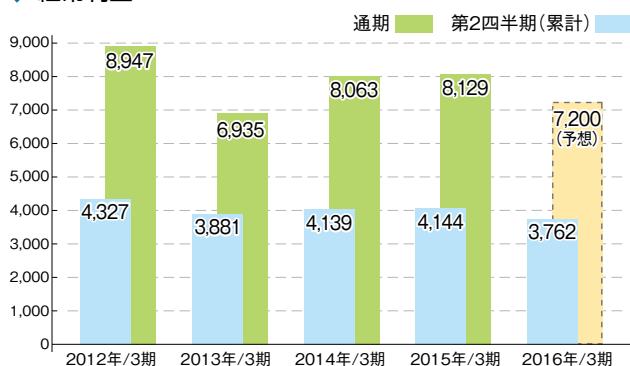
❖ 売上高



❖ 営業利益



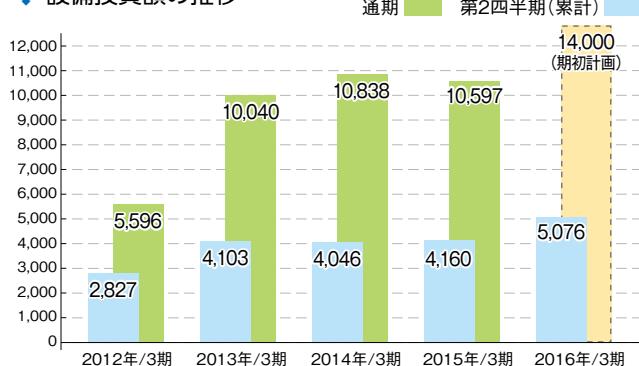
❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



❖ 設備投資額の推移



❖ 減価償却費の推移



2016年3月期 通期業績予想

当社グループの足元の状況といたしましては、主力の自動車関連の売上は、海外においては堅調に推移し、メキシコ新工場の着実な生産拡大を進める一方、国内市場の低迷は今しばらく続くことが懸念されます。

また、非自動車関連では、船用は一時的に回復に向かったものの依然として船腹量過剰な状態は続いており、本格的な需給バランスの改善には至っておらず、一般建設機械はインフラ投資が減速する中国などで需要が減少し、資源価格の低迷が長期化する影響により鉱山機械の需要回復には時間を要することが懸念されます。

こうした最近の業況や、中国をはじめアジア諸国、メキシコなど新興国通貨の円に対する下落影響等も踏まえて、現時点で予想可能な範囲で通期業績予想の見直しを行い、2015年5月11日に公表した2016年3月期通期連結業績予想数値について、次の通り修正いたしました。

単位：百万円（百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入）

連結通期業績	【前期】 2015年3月期 (実績)	【当期】 2016年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	85,015	82,000	△ 3,015	△ 3.5%
営業利益 (同利益率)	7,633 (9.0%)	7,200 (8.8%)	△ 433	△ 5.7%
経常利益 (同利益率)	8,129 (9.6%)	7,200 (8.8%)	△ 929	△ 11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	4,459 (5.2%)	4,100 (5.0%)	△ 359	△ 8.1%

※2016年3月期通期の想定為替レート：1米ドル=120円、1ユーロ=130円

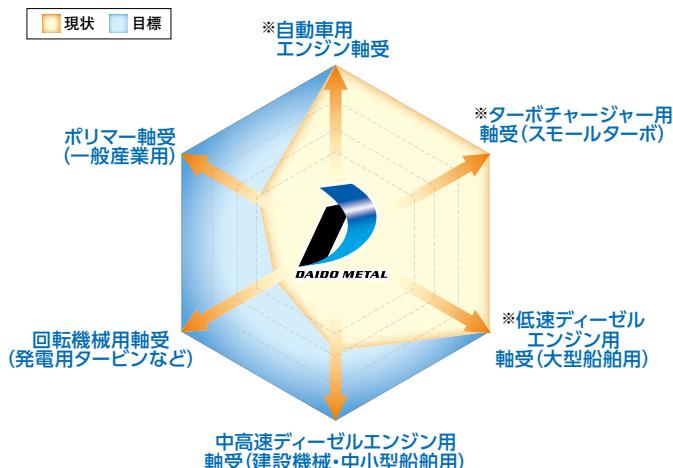
※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

中期経営計画 (Together To The Top)

中期経営計画第1ステージ(2012年度～2014年度)の当社グループのチャレンジ目標である「連結売上高目指して邁進してまいります」。

Stage2 2015年度～2017年度

❖ すべり軸受全産業分野 世界シェア目標図



※：世界トップシェア(2014年暦年当社推定)

配当について

長期安定的な剰余金の配当水準を維持する方針から、当期の中間配当につきましては、2015年5月11日公表の予想値どおり、「1株当たり13円」とさせていただきます。

なお、当期の期末配当につきましては、「1株当たり13円」予定を据え置いております。

	【前期】 2015年3月期	【当期】 2016年3月期
中間	10円	13円
期末	10円	13円(予定)
年間配当	20円	26円(予定)

年間6円増配

Topics

大同メタル佐賀(株) 竣工式

2015年4月10日に大同メタル佐賀株式会社を佐賀県武雄市内に設立いたしました。国内外の需要に対応するため、軸受材料などを製造する生産子会社として、2016年6月より稼働を予定しております。中期経営計画に沿った生産体制の強化を推進してまいります。



前半3カ年が終わり、第2ステージ(2015年度～2017年度)に入りました。

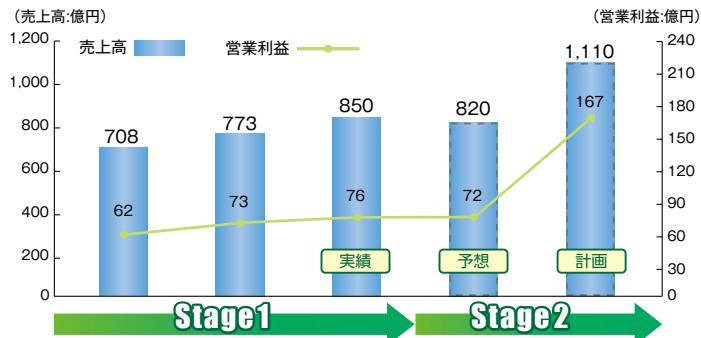
1,110億円、営業利益167億円、営業利益率15%以上」の達成並びに『すべり軸受の全産業分野での世界トップシェア獲得』を

すべり軸受の全産業分野で世界トップシェアを実現する

❖ 第2ステージ期間中における活動目標・計画

❖ 中期経営計画(Together To The Top)の経営目標

時期	拠点 及び 内容
2015年4月設立 (2016年6月稼働予定)	大同メタル佐賀(株)設立 軸受材料等工場
2015年8月竣工	自動車用エンジン軸受工場の 立上げ(インド)
2016年迄(予定)	自動車用エンジン軸受の 生産能力増強(韓国)
第2ステージ期間中	トラック用エンジン軸受事業の 立上げ(ロシア)
	メキシコ事業の早期黒字化



	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2017年度
売上高	708億円	773億円	850億円	820億円	1,110億円
営業利益	62億円	73億円	76億円	72億円	167億円
営業利益率	8.9%	9.5%	9.0%	8.8%	15%以上

| BBL大同プライベートLTD. (インド) 自動車用エンジン軸受生産工場竣工式

2015年8月27日に、インドにおける軸受生産会社であるBBL大同プライベートLTD.において自動車用エンジン軸受生産工場の竣工式を執り行いました。

BBL大同プライベートLTD.は、チェンナイから約40km南下した場所にあり、2001年に、パートナーのAmalgamationsグループのBBL/Simpsonと大同メタル工業の合併会社として設立され、ショックアブソーバー用軸受事業を中心に樹脂系軸受の製造販売を行ってまいりました。

今後、インド市場の更なる需要拡大を見込み、自動車用エンジン軸受生産工場を設立し、グローバルベースで自動車用エンジン軸受分野の更なるシェア拡大を目指してまいります。



会社概要

(2015年9月30日現在)

設立	1939年(昭和14年)11月4日
資本金	7,273百万円
従業員数	連結 4,507名 / 個別 1,262名
事業内容	<p>●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルブサージ機構)用軸受など</p> <p>●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など</p> <p>●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など</p> <p>●その他 不動産賃貸事業等、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業など</p>

本社	名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルヂング 13階
東京本社	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階

国内生産拠点	犬山工場(犬山事業所内) 前原工場(犬山事業所内) バイメタル製造所(犬山事業所内) 岐阜工場 TMBS工場(犬山事業所内) TMBS = Turbomachinery Bearing Systems (回転機械用軸受)
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、浜松営業所、広島営業所、九州営業所、北関東営業所(2015年4月1日開設)

関係会社

- 国内
 - 生産：大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社(2015年4月10日設立)
 - 販売：大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社
 - 物流：大同ロジテック株式会社
 - 不動産賃貸：株式会社アジアケルメット製作所
- 海外(主な拠点)
 - 【アジア】

中原大同股份有限公司(台湾)	PT.大同メタルインドネシア(インドネシア)
同晟金属株式会社(韓国)	BBL大同プライベートLTD.(インド)
ダイナメタルCO., LTD.(タイ)	韓国ドライベアリング株式会社(韓国)
 - 【中国】
 大同精密金属(蘇州)有限公司(中国)
 - 【ヨーロッパ】
 大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(イギリス) 大同メタルチエコs.r.o.(チェコ)
 大同メタルコントロールAD(モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパLTD.(イギリス)
 大同メタルドイツGmbH(ドイツ) 大同メタルロシアLLC(ロシア)
 - 【北米】
 大同メタルU.S.A. INC.(米国) 大同メタルメキシコS.A. DE C.V.(メキシコ)
 大同メタルメキシコ販売S.A. DE C.V.(メキシコ)

役員

(2015年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判治 誠吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	檜山 恒太郎
取締役 兼常務執行役員	佐々木 利行
取締役 兼常務執行役員	河村 康雄
取締役 兼常務執行役員	井川 雅樹
☆ 取締役	武井 敏一
常勤監査役	玉谷 昌明
☆ 監査役	田辺 邦子
☆ 監査役	松田 和雄

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

上席執行役員	岡 戸 篤
上席執行役員	佐藤 善昭
上席執行役員	小暮 圭一
上席執行役員	吉田 秀雄
上席執行役員	三代 元之
上席執行役員	宮脇 敏之
執行役員	伊藤 吉明
執行役員	鬼頭 幸裕
執行役員	浅井 眞吾
執行役員	佐々木 秀明

株式事項 (2015年9月30日現在)

❖ 株式の状況

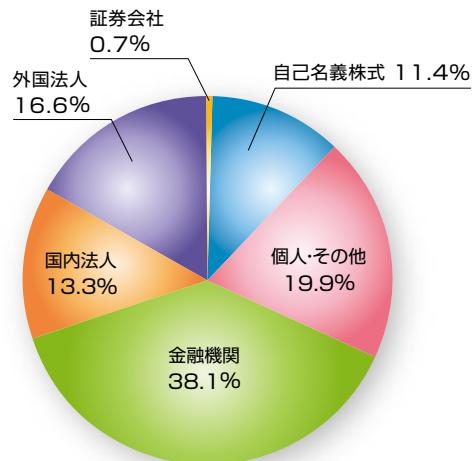
発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 44,956,853 株 (自己株式 5,140,013 株を含む)
 株主数 3,800 名

❖ 大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,529
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,055
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,661
大同メタル友栄会持株会	1,206
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,141
ザセリワタナ インダストリーカンパニー リミテッド 703000	1,000
日新製鋼株式会社	909

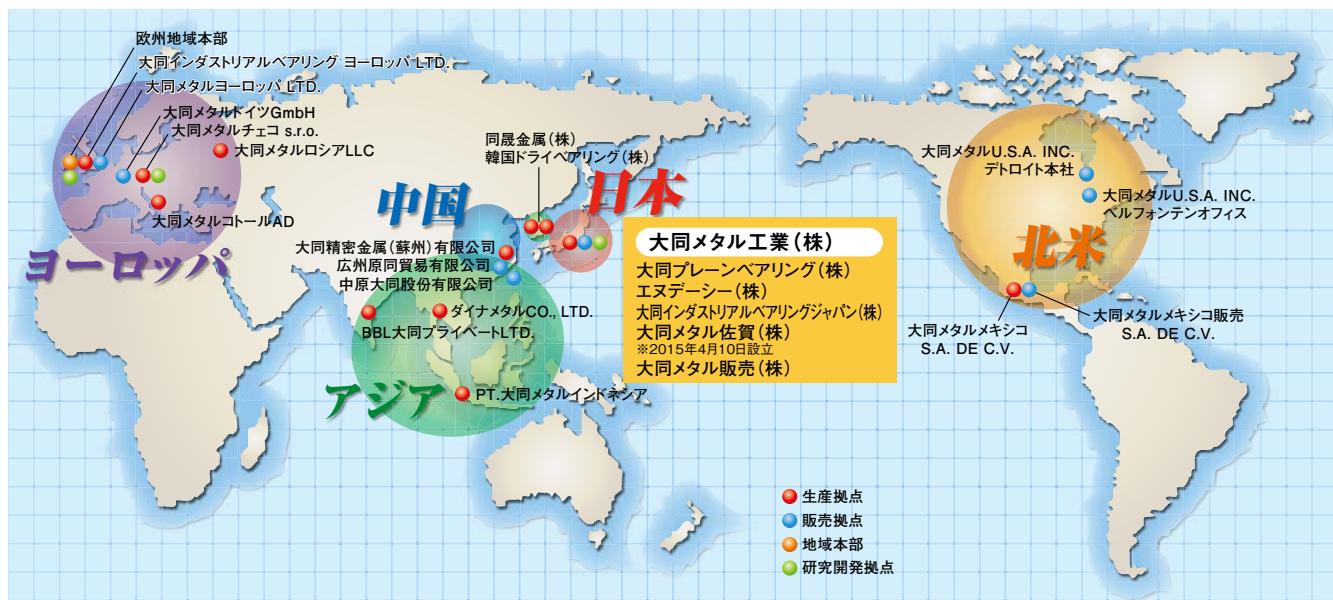
(注)当社は自己株式5,140,013株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

❖ 所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク(主な拠点)

(2015年9月30日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/) に掲載 します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等 お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00 ~ 17:00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

大同メタル工業株式会社

DAIDO METAL

<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。